



# 置農フライド

置農ふれあい通信

【学校スローガン】

「命」を育み、「心」を育み、「人」を育む。

『トピックス』

「生徒達はとても立派で、素晴らしい成長が見られた。」これは、出迎えた職員に対する校長先生の第一声です。出迎えに満面の笑みで手を振りまくる生徒たちの様子からも大きな充実感が伺えました。



## 1 2年生が修学旅行で関西へ！！

本校が修学旅行で県外に出向くのは3年ぶり。夏休み頃までは感染状況が全国的に減少傾向だったため安堵していたものの、夏が終わりに近づくと県内外で増加傾向に転じ、旅行直前まで自宅待機していた参加者も複数名いる状態。関係者一同祈るような想いで過ごす中、2学年担任団が個別消毒用具の準備やスーツケースの別送など感染予防強化策を次々講じ、全員で最高に充実した旅行期間を過ごすことができました。

詳細は生物生産科の保科記者による原稿を基に次ページに記します。



### 【目次】

- 1 修学旅行①
- 2 修学旅行②
- 3 修学旅行③
- 4 修学旅行④
- 5 ふるさと探究大賞受賞
- 6 お米甲子園
- 7 バasketボール部
- 8 校内プロジェクト発表会
- 9 置農植物園
- 10 YouTube  
「置農チャンネル」
- 11 編集者コラム



## 2 京都の寺社仏閣と街並みを堪能(1日目)

1日目は、朝7時に米沢駅を出発して京都を巡り、初めに「三十三間堂」を訪れて千手観音像を見学しました。国語の授業などで写真は見たことがありましたが、実物の迫りに圧倒されました。次に訪れた「金閣寺」では大きな建造物に金箔を張る技術はすごさに驚きました。「清水寺」の舞台から見た景色もとても素晴らしく、京都の伝統的な街並みを身体で感じる事ができました。

2日目。「奈良公園」に到着すると、普段目にする事が出来ない鹿たちがすぐそこを歩き回っていて、とても驚きました。鹿煎餅を食べさせ



## 3 奈良で歴史の重みと人生を学ぶ(2日目)

ようとしたら沢山寄ってきて危ないところでした。「東大寺」で見学した有名な「奈良の大仏」は、前々から大きいだろうとは想像していましたが、その想像をはるかに超えた大きさでした。「二月堂」では奈良の景色を見渡すこともできました。その後訪れた「法隆寺」は聖徳太子が建てた日本最古の建造物(事前に自学した知識)であり、昔のままの姿で残っていました。「薬師寺」でお聞きしたお坊さんの話は面白いだけではなく、人生の考え方にも繋がるものでした。

3日目は、十円玉に描かれている「平等院鳳凰堂」に行きました。



## 4 USJで少しでも密を取り戻す(3日目)

鳳凰堂の後は、全員が楽しみにしていた「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」です。とてもすごい賑わいでした。(保科記者原稿にはこれ以上の詳細なし)

4日目は、日本で2番目に大きい水槽がある「海遊館」です。館内中央に巨大な水槽があり、ジンベイザメの他にもカニやマンボウがいました。修学旅行を通して日本の古い歴史や建造物に触れ、昔の人々の建築技術のすごさを感じる事ができました。これから生きていく中で、これまでの日本の文化を大切にしていきたいと思いました。





## 5 「ふるさと探究大賞（最優秀賞）」受賞。

11月。「令和4年度郷土Yamagataふるさと探究コンテスト」の最終審査会、高校の部で園芸福祉科「ニオイ木班」が「探究大賞」を獲得しました。「地域を素材とする学習及び体験活動を通して、地域の自然や文化、歴史、偉人などのふるさとのよさを発見・再確認し、郷土に対する愛着や誇りを育むこと」を目的とする本コンテストでの本校の最優秀賞受賞は3年連続であり、大変誇らしい成果です。昨今、他の高校生が探究活動で本校を訪れ、本校生が助言したり支援したりする機会も増えており、本校の存在感が日毎に高まっています。



## 6 「お米甲子園」で二年ぶりに金賞受賞。

12月3日。長野県小諸市で「第24回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が開催され、高校生の部「全国高校お米甲子園」で二年ぶりに金賞（4校）を受賞しました。同大会は、「安全性と食味を追及する水稻栽培学習」の成果を競い合うもので、一昨年は「最高金賞（1校）」を受賞するなど、本校農業学習の充実ぶりが毎年各方面で高く評価されています。

稲作部門では伝統的なアイガモ農法に加えて、GAP認証制度への挑戦やドローンを活用した直播栽培など、毎年新たな学びを展開しています。自身が関心を抱く分野の探究活動を通して県外に出向く機会も多く、沢山の方に接し、励まされ、学びを深める本校生の活躍にご期待ください。



## 7 バスケットボールに熱中する人たち。

「公式戦1勝」を目標に掲げたバスケットボール部が地区新人戦で高畠高校との1戦に臨みました。部員殆どが高校から始めたいわば初心者チームの結果は50-101で敗北。他チームと比べると実力はまだまだ劣りますが、大幅な成長が感じられ、伸びしろはこのチームよりもあります。

バスケット漫画の名作「SLAM DUNK」のように、弱小チームがインターハイで全国一の強豪校を倒すような物語は作れないかもしれませんが、全員がひたむきにプレーし、見ている人を感動させられるようなバスケットができるように仲間が一つになって日々の練習に取り組んでいます。





## 8 「校内プロジェクト発表会」開催

標記発表会は本校教育活動の中核に位置付けられており、見事な発表が相次ぎました。「置賜産ダリアプロジェクト」と題した探究活動について発表した園芸福祉科2年生の朝倉さん他5名が最優秀賞を獲得しました。今後は、間もなく開催される県大会突破に向けて研究精度を高め、来年開催される全国大会への進出を目指します。

なお、県大会進出

チームは次の通りです。

### 【優秀賞（県大会出場）】

- ・「天晴」なブドウ栽培… L科3年、島崎くん他2名
- ・「ニオイ木」の浄化作用… G科3年、菅井さん他8名
- ・…米粉でつなぐ地域交流… E科3年、梅津さん他5名
- ・こども農園…子どもの居場所… E科3年、安部くん他12名

### 【優良賞】

- ・…TMR 飼料導入の研究… L科3年、池内くん他9名
- ・…スマート農業技術導入… L科3年、小林くん他3名



## 9 「置農植物園」の草花と昆虫

「美しい郷土と、共に暮らす人々を愛しながら、誠実に明るく精一杯生きようとする身上と…を育むこと。また、生命の源である…」これは学校関係者の方々から多数ご意見を頂きながら、昨年度末に再確認した本校の「スクール・ミッション」の一部です。本コーナーを編集するたびにこのミッションが浮かび、本校が果たすべき使命を豊かな自然から教えられる想いです。皆様もぜひ「お機能植物園」を鑑賞にお越しください。



## 10 「置農チャンネル」大好評!!

学校HP (<http://www.okitama-ah.ed.jp>)に加えてYouTube（「置賜農業高等学校」で検索または右QRコード）でも情報発信しています。農業の楽しさと本校の魅力を、ご体感ください。



### 【編集者コラム】・・・ ボーイズ・ビー・アンビシャス ...

「東北大学に入学できますか?」生徒の質問に私は「できます」と回答しました。「1年生の冬から本気になって頑張れば夢は叶う」「他大学卒業後に東北大学大学院に進む人も多い」との説明に生徒達は驚いていましたが、それだけ高校生の可能性は絶大です。ただ、情報を得られなかったり、萎縮したりしては夢を抱くことすらできません。我々大人の役割は子ども達と語り合い、必要な情報を一緒に収集し、夢探しや実現に向けた取組みを支えることです。必要な場合は遠慮されずにお問合せください。（文責、教頭）

今後の予定

《スキー授業》

1年生 1/28金、2/10金

2年生 1/18水、2/1水

3年生 1/13金、20金

【 1月 】

6金 始業式・生徒集会

17火 後期生徒総会

20金 SC

31火 SC

【 2月 】

3金 推薦入試

7火 学校評議員会②

8水 SC